

妙心寺団体参拝について

4月の花園会総会でも、

「令和9年3月に妙心寺2世である
興祖微妙大師650年の遠諱法要
が開催されます。そのため妙心寺
派では令和7年度より遠諱団参を
受付開始しています。当山でも令
和8年度に団参を実施したいと思
います。」と報告致しましたが、
7月5日に開催した第1回花園会
役員会にて、左記の通り本山団参
の日程が決定しました。

本山団参 令和8年6月13日
(土)～14日(日)

秋頃にあらためて募集致します
が、今回の団参は、現地集合、現
地解散にしたいと思います。

土曜日の夕方に宿坊花園会館に
集合し夕食をご一緒にします。翌朝
は本山へのお参りと拝観、朝食後
は遠諱記念の写経を奉納した後、
沙羅(夏椿)で有名な塔頭東林院
を拝観し、お昼前頃に解散します。
参加費は1泊2食で一人約2万円。
京都へはJRや高速バスの公共
交通機関をご利用頂きたいですが、
自家用車での参加も可能です。
定員20名、最低催行数は10名です。

實相寺
花園会報

令和七年
八月一日発行
発行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園会
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第196号

お寺の掲示板

千言の
益なき言葉
知らんより
こころやすらぐ
一句こそ

まをりたるべし

法句經一〇〇

禅宗は、不立文字、教外別伝といつて、沢山の経
典を必要としない。それよりも、趙州の「無」とか、
雲門の「関」とか、或いは「日々是好日」というよ
うな、祖師方の示された一句に参ずることによって
見性成仏できるという、極めて端的な教えである。

無益な知識をたくさん集めることによって、知能
を労費するよりも、真に自己の冷静にかかわる一句
を守って、日々の精神に統一と安定を得ることを、
忘れてはならぬであらう。

『法句經 真理のことば』 山田無文老師 春秋社

「父母恩重經を読んで⑥」

「父母、外に出でて他の座席に行き美味珍羞を得ることあれば、自らこれを喰らうに忍びず、懷に収めて持ち帰り、呼び来たりて子に与う。十度帰れば九度まで得、得ればすなわち歡喜して、かつ笑いかつ喰らう。もし過りて一度得ざれば、いつわり泣き、いつわり哭ちて、父を責め母に逼る。」

子供が二、三歳の頃の話の続きです。両親は外出して他家に赴き、珍しいご馳走などに出会った時は、自分では食わずに持ち帰り、いつも子供に与えたという話です。

子供の方も、親が出掛ければ十中八九は土産を持って帰るもので

すから、それがあたり前になって、たまたま何もない日には、嘘泣きして両親を困らせたといえます。

現代では幼児でも婚禮などにはお呼ばれしますし、そもそも普段からご馳走を食べているので、珍しい食べ物も殆どありませんが、昭和四〇年代ぐらいまでは、こうした光景が家庭の中に残っていたかもしれません。

「稍や成長して朋友と相交わるに至れば、父は衣を求め帯を求め、母は髪を梳り髻を摩で、己が美好の衣服はみな子に与えて着せしめ、己はすなわち古き着物、弊れたる服をまとう。」

やや成長して友達と出かけるよ

うになると、父は着物を買って求め、母は頭髪を調えるなどして、上等な衣服は全て子供に与え、自分達は古い破れた服を身に纏う、とお経は説いています。今風にいえば「子供ファースト」ですね。

現代でも子供が大学進学したり、成人式を迎えたりする頃には、自分達のことは二の次で、子供の学費や晴れ着などを準備されるご家庭も多いのではないのでしょうか？このお経を読むと、いくら時代が移り代わっても、子を思う親の愛情というのは、それほど変わらないことを感じます。

『父母恩重經』は中国で成立したお経ですが、『大正新修大藏經』に

収録されている敦煌本より、江戸時代に流行した流布本は随分長くなっています。それだけ日本人に愛されたお経なのかも知れません。つい先日、イチローさんが大リーグの野球殿堂入りを果たし、そのスピーチが素晴らしいと話題になりましたが、受賞後に米国のスポーツ番組で「米国の野球文化が日本の野球文化から何が学べるのか？」との問いに、イチローさんは「それは先輩から後輩へ、世代を超えて継承する文化だ」と答えていたのが印象的でした。継承するには共感が必要です。そして共感するには単なる知識ではなく、自らの経験が不可欠なのです。(続)